

八 経過

事業主側

二十五日社長以下幹部、集合アリ此ノ際多少ノ犠牲ヲ忍ビテ  
モ断平ナル處置ヲ為シ不良分子ノ一掃ヲ決行セントシ爭議不  
参加ノ職工ハ一時工場内ニ仮寄宿舎ヲ設ケ權勢政策ヲ取り作  
業ヲ繼續セントシ 意嚮トシテハ解雇者四名ノ復職ハ絶對ニ  
之ヲ認メサルモ解雇手當ニ就テハ考慮スルモ差支ナク且爭議  
参加ノ三十餘名ノ職工ハ組合脱退ヲ條件トシテ後前通使役セ  
ントシ早期解決ヲ希望ス

労働者側

職工代表者ハ二十五日午後六時大衆堂支那事務所ニ引揚ケ工  
場從業員約十五名及文部員 名位會合シ會社ハ労働組合ノ

切崩ヲ主眼トシテ挑戰的態度ニ出テ居ルモノニシテ面目上漸  
然斗争スヘシト決定シ洋モス爭議團其他ノ應援ヲ得テ多少不  
穩ノ行動ニ出テントスルノ氣配アリ

九 警察事故

二十六日ノ交渉不調ニ終ルマ後從業員代表江口一郎ハ席ヲ蹴ツ  
テ工場ニ至リ被解雇者等三名ヲ守衛ノ制止ヲ排シテ江口ニ後  
ヒ作業中ノ從業員ニ對シ交渉ノ決裂ヲ告ケ罷業ヲ勧誘シ即時  
約三十名ヲ罷業セシメ正門ニ殺到投石其他ノ暴行ヲ行ヒ潜戸  
及守衛控室ノ硝子一枚ヲ破壊セルヲ以テ右江口一郎外七名ヲ

檢束

一〇 調停ノ状況

状況右ノ如クナルヲ以テ所轄廳有署ニ在リテハ二十六日午後  
三時同署ニ湯資代表者ヲ招致斡旋ヲ試ミタルリ相互ノ主張何  
レモ譲ラサルヲ以テ考慮ヲ促シ再會ヲ約セリ